

2019年 10月 7日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

～作業効率化・品質向上に向けた取り組み～

ビル管理に清掃ロボット導入

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）は、ビル管理における作業効率化、品質向上を目的に、管理受託する2つの施設において清掃ロボットの使用を本格開始いたしますのでお知らせいたします。

清掃ロボットについて

労働人口の減少による人材不足の深刻化が予測される中、管理における業務効率化は喫緊の課題となっています。当社では、ビル管理における作業効率化、品質向上を目的に、管理受託する2施設において、清掃ロボットの使用を本格開始いたします。



渋谷ソラスタでは、本年5月より、2Fエントランスホールにおいて、カーペットなどの床清掃を目的に、ソフトバンクロボティクスのAI清掃ロボット「Whiz」※を導入しました。清掃したいルートを手押しして学習させれば、次回以降、ボタン1つで記憶したルートを自律清掃します。複数のセンサーで、走行ルート上の障害物や段差、人の動きを検知し、回避や一次停止を行う仕組みで、日中も安全に作業することが可能です。これまで、1日2回、エントランスホール清掃で実証を行ってきましたが、9月からは、テナント入居階の共用廊下においても、使用を開始しております。

神保町北東急ビルでは、12月より窓清掃ロボットの使用を開始します。高所や、人の入れない狭い隙間も清掃することができ、作業の効率化や品質向上につなげることができます。

東急コミュニティーについて

当社は、全国でマンション管理、ビル・施設マネジメント、公共施設管理運営を行う総合不動産管理会社です。マンションで33万戸、ビルで1,100件の管理実績があります。

今後、人材確保難が進む中、高品質な管理サービス提供を継続していくには、AIやIoTの活用を見据えた新たなビジネスモデルの構築が必要です。今後も実証を重ねながら、お客様の施設特性に合った提案を行い、快適な環境づくり、資産価値の維持向上に努めてまいります。

※「Whiz」の名称、ロゴはソフトバンクロボティクスの登録商標です。

【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター（担当：伊藤）

※このニュースリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお配りしています。